

別添4

提案概要（下関市デイサービスセンター「ほのぼの」）

評価項目		指定管理候補者
基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針があること	当該施設のもつ利用者の在宅生活への支援、介護者の身体的・精神的負担の軽減といった性格や設置目的等を的確に理解し、「地域福祉の推進」を図ることを基本方針として、指定管理者となる意義、責務を認識し、業務を行う。
	市民の平等な利用が確保されていること	利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供を行い、市民の平等な利用を確保する。また、関係法令等に基づいて適正に運営し、公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応する。
	施設の効用が最大限発揮されていること	運営会議や利用者アンケートにより利用者及び家族の要望を把握し改善に努め、利用者の利便性向上や業務の効率化に取り組む。また、節電、定期的な清掃等による経費節減や環境配慮、ボランティア受け入れや、地域行事への参加等による地域との関わりにも積極的に取り組む。
団体の経営状態の健全性		職員配置から経営、運営管理に至るまで、団体として当該施設のサポート、バックアップする組織体制を確立しており、市や関係団体と緊密に連携し責任をもって事業に取り組む。
事業計画	施設管理運営の実施方針（合目的性）	市が示す申込要項及び業務仕様書に従い、適正に施設管理や事業運営に取り組む。
	事業取り組み方、施設の運営体制や組織（責任性、実行性）	利用者及びその家族のニーズを的確に捉え、かつ、実行可能なサービス提供を行う。人員体制、配置人員について、年間の事業計画に沿ったサービス提供が行えるよう、専門性に長けた職員及び関係法令に基づいた資格等を有する職員の配置を行う。
	適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	団体として財務、会計、契約、監査等を行う組織体制を確立しており、適正な事務処理に取り組む。施設や附属設備の常時点検や、また、関係法令に基づいた保守点検等を職員もしくは外部委託により適正に行う。また、運営会議等により日々施設改善に取り組む。
	安全管理、緊急時の対応（安全性）	各種マニュアル、規程を作成し、事故防止や防火、利用者の健康管理等の安全対策や個人情報の取扱い対策を構築しており、これに沿って適切に対応する。
	過去の実績等	当該施設、類似施設及び関連業務の管理運営実績がある。
経済性		収入や経費はもれなく経常しており、収支均衡に取り組む。